



Elémentaire Leçon17-1 (初級 17-1)

S'il ne pleuvait pas, j'irais au parc. (雨でなければ公園に行けたのに)



L'objectif de cette leçon (このレッスンの目的)

- ・【条件法】について学習します。
- ・単語学習では、【動物に関する単語】について学習します。

Partie 1 ~ La conversation (会話) ~

ホストブラザーEricが残念そうに窓の外を眺めています。そこへ、ホストシスターのSuzanneが来て...

講師が「★1 (lisez étoile un)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。
(先に講師が読む場合があります。その場合は、講師の発音をしっかり聞き、リピートしましょう。)

Eric : ★1 *Ah, s'il ne pleuvait pas, j'irais au parc.*

Suzanne : ★2 *Ne sois pas déçu. Papa t'emmènera à l'aquarium.*

Maman a demandé à papa s'il pouvait t'y emmener.

Eric : ★3 *C'est vrai?*

(Eric va au salon)

Eric : *Suzanne a dit que papa allait m'emmener à*

★4 *l'aquarium.*

Carole : ★5 *Ah, tu avais déjà entendu.*

Eric: あーあ、雨が降ってなければ公園に行けたのにな。

Suzanne: がっかりしないの。パパが水族館に連れて行ってくれるわよ。
ママがパパにあなたを連れていけないかって聞いてたわ。

Eric: ほんと？
(エリックはリビングに行き...)

Eric: パパが水族館に連れて行ってってくれるってスザンヌが言ってた！

Carole: まあ、もう聞いたの。

Partie 2 ~ Nouveaux mots (新しい単語) ~

※ A apprendre seul après le cours (自習用)

- déçu** décevoir(～に失望する、～の期待を裏切る)の過去分詞。
être déçu でがっかりする、の意味。
- aquarium(m)** 水族館
- demandait** demander で直説法半過去の活用形。英語の ask に相当。「～を求める、頼む、尋ねる」の意味。-er 型第一群規則動詞。
- vrai(e)** 本当の、真の、を意味する形容詞。名詞の前に置かれることが多い。
- aller+不定詞** 近接未来の用法(初級 14 で学習済み。)
- déjà** 英語の already に相当し、「もう、すでに、以前に」の意味の副詞。
- entendu** entendre の過去分詞。英語の hear に相当。「～が聞こえる、～を理解する」の意味。se entendre で「理解し合う、仲が良い」「耳にする」の意味。

Partie 3 ~ Grammaire (文法) ~

【条件法】について学習します。

文法に関する説明は、事前に読んで学習し理解しておきましょう。

講師が「★6 (lisez, étoile, six)」などと指示を出しますので、まずは自分で読んでみましょう。その後、講師が正しい読み方で発音しますので、真似してください。

条件法 mode conditionnel

入門 6 で、フランス語には 3 つの法がある、ということを書きました。
条件法とは、フランス語の 3 つの法の中の一つで、現実に反する事実を表す際に使われる表現です。

条件法現在の作り方

直説法現在形の原形から、語尾の r 以降を抜いたものを語幹とし、主語に応じた語尾を付けます。
※語幹は直説法単純未来と同様で、語尾のみ異なります。

条件法現在	単数	複数
一人称	—rais	—rions
二人称	—rais	—riez
三人称	—rait	—raient

例えば、aimer の場合、語幹は aime になります。aimer の条件法現在の活用は、

条件法現在	単数	複数
★6		
一人称	j'aimerais	nous aimerions
二人称	tu aimerais	vous aimeriez
三人称	il aimerait	ils aimeraient
	elle aimerait	elles aimeraient

◆但し、不規則動詞は特別な語幹になるものが多いです。これらも語幹は直説法単純未来と同様です。

●語幹が例外となる動詞。(語幹のみを記載。語尾の活用は、表の規則の通りです。)

★7 活用表はありませんが、語尾は主語＋活用形で講師と発音練習してみましょう。

être(である)→se avoir(持つ)→au aller(行く)→i pouvoir(～できる)→pour

venir(来る)→viend vouloir(欲しい)→voud envoyer(送る)→enver

devoir(～しなければならない)→dev voir(見える)→ver recevoir(受け取る)→recev

savoir(知っている)→sau

●主語に非人称の il のみがかかる動詞。

★8 pleuvoir(雨が降る)→il pleuvrait falloir(必要である)→il faudrait

条件法過去の作り方

主語 + avoir または être(条件法現在の活用形) + 動詞(過去分詞) + ～

(※過去分詞の作り方、否定文や疑問文の作り方は、初級 11 参照)

※過去分詞は、主語の性・数に一致します。

条件法の用法

- ① 接続詞 si を用いた条件文を伴い、**事実**に反する内容を表す場合。英語の仮定法に相当します。
 - 現在の事実
 - 過去の事実
- ② 過去における未来を表す場合(時制の一致) (『初級 17-2【話法の転換】の中の、時制の一致』参照)
- ③ 語調を和らげたり、丁寧な依頼をする場合。英語の I would like to ~. や Could you ~? に相当します。
 - ★11 例: Je voudrais voir Monsieur Durand. (デュランさんにお会いしたいのですが...)
 - ★12 例: Aimeriez-vous du thé? (紅茶はいかがですか?)
- ④ 遠まわしに非難や後悔を表す場合。
 - ★13 例: Tu aurais dû me le dire à l'avance. (先に言ってくれたらよかったのに。(=先にそれを私に言わなければならなかったのに。))
 - ★14 例: J'aurais dû réserver une place dans le train plus tôt. (もっと早く電車の席を予約しておくべきだったのだけど。)
- ⑤ 推測や伝聞など、事実かどうか分からないことを表す場合。
 - ★15 例: D'après le journal, un nouveau microbe aurait été découvert. (新聞によると、新種のウイルスが発見されたいらしい。)

★16 【練習問題～Exercices～】

講師が言う文を、条件法にしてみましょう。

講師が écrivez と言ったら、チャットにスペルを記入しましょう。

例：(講師) Je l'aime. → (生徒) Je l'aimerais.

例：(講師) Vous y êtes allés hier soir. → (生徒) Vous y seriez allés hier soir.

Partie 4 ~ Leçon de vocabulaire (単語学習) ~

動物に関する単語を覚えましょう！

動物は、動物の性により名詞の性が変わりますが、一部には男性形もしくは女性形のみ動物もいます。また、子どもの動物は、多くが男性名詞です。

日本語	オス	メス	子～
犬	★17 un chien	★18 une chienne	★19 un chiot
ウサギ	★20 un lapin	★21 une lapine	★22 un lapereau
牛	★23 un bœuf	★24 une vache	★25 un veau
馬	★26 un cheval	★27 une jument	★28 un poulain
オオカミ	★29 un loup	★30 une louve	★31 un louveteau
カバ	★32 un hippopotame		
カンガルー	★33 un kangourou		
キツネ	★34 un renard	★35 une renarde	★36 un renardeau
キリン		★37 une girafe	★38 un girafon
クマ	★39 un ours	★40 une ourse	★41 un ourson

Partie 5 ~ Exercices (練習問題) ~

A : 以下の日本語を、フランス語にして読みましょう。講師が écrivez と言った場合は、チャットにスペルを記入しましょう。

★42 先に言ってくれたらよかったのに。

★43 十分に時間があれば、私たちは美術館にも行くのだけど。 ※十分に assez

★44 もしその山がもうちょっと低かったら、一日で登ることができるんだけど。

※もう少し低い un peu moins haut(e)

※その山に登る→(その人)の登山をする faire son ascension ※一日で en un jour

★45 君がもっと早く着いたら、彼に会えたのに。

★46 私は絵画を見に行きたいのですが。 ※絵画 un tableau(ここでは複数形を使います)

★47 もしその映画がもう少し早く終わっていたら、君の家に行けたんだけど。

- ★48 B: 講師がこれからフランス語で質問します。フランス語で答えてみましょう。
※難しい場合は écrivez と言い、チャットに記入された文を見ながら考えてみましょう。
- ★49 C: 講師がこれから言う単語や文章を聞き取り、チャットに書いてください。講師が正解とつづりをチェックします。